

●●●2026年1月～3月期 栃木県中小企業景況調査(187回)●●●

【栃木県DI指数天気図】

今期(県内全体)の業況

DI値
-12.4
※全国 -17.6

業況

県内全体の業況(DI値)は、前期(10-12月期)から2.3ポイント改善し-12.4ポイントとなり、全国との比較でも12期連続で全国平均を上回る結果となった。業種別の前期比を見ると、製造業では10.9ポイントの大幅改善となったが、建設業では1.4ポイント、小売業では4.5ポイント、サービス業では9.3ポイントの悪化となった。

経営上の問題点の上位については、全ての業種において、原材料価格の上昇や仕入単価の上昇があげられ、資源価格の高騰による物価高の影響を大きく受けていることが見受けられる。

来期の県内全体の業況は11.2ポイント改善し-1.2ポイントの見込みで、業種別に見ると、サービス業で18.9ポイントの大幅改善が見込まれ、さらに小売業では8.4ポイント、製造業では6.4ポイント、建設業では6.2ポイントの改善が見込まれている。

～天気図の指標～

現状	良い	やや良い	やや悪い	悪い	とても悪い
天気図					
DI値	15.1～	15～0.1	0～-15	-15.1～-40	-40.1～

業種	項目	今期(全体)	売上額	仕入単価※	採算	資金繰り
製造業						
	DI値	-8.9	-6.9	67.9	-17.2	-17.3
業況：前期から10.9ポイントの改善、来期も改善の見込み						

来期予想(全体)
-2.5
(↗)

業種	項目	今期(全体)	売上額	仕入単価※	採算	資金繰り
建設業						
	DI値	-17.7	-13.7	75.0	-27.3	-18.2
業況：前期から1.4ポイントの悪化、来期は改善の見込み						

-11.5
(↗)

業種	項目	今期(全体)	売上額	仕入単価※	採算	資金繰り
小売業						
	DI値	-17.6	-29.3	68.3	-21.9	-17.9
業況：前期から4.5ポイントの悪化、来期は改善の見込み						

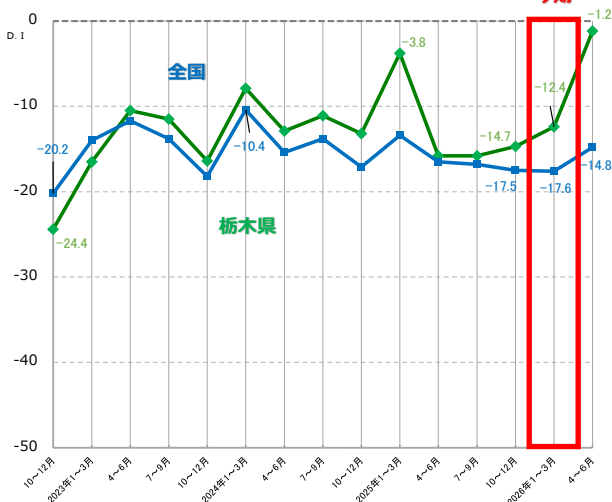
-9.2
(↗)

業種	項目	今期(全体)	売上額	仕入単価※	採算	資金繰り
サービス業						
	DI値	-15.4	-12.1	77.2	-32.8	-19.3
業況：前期から9.3ポイントの悪化、来期は大幅改善の見込み						

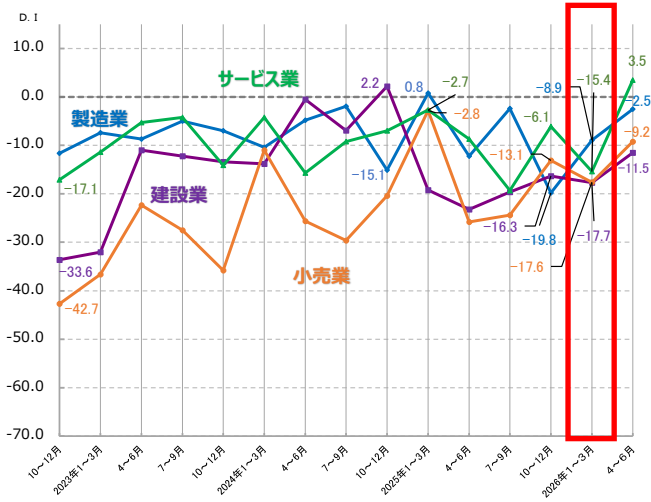
3.5
(↗)

※仕入単価はプラスになるほど悪化となります

全国と栃木県の業況の推移

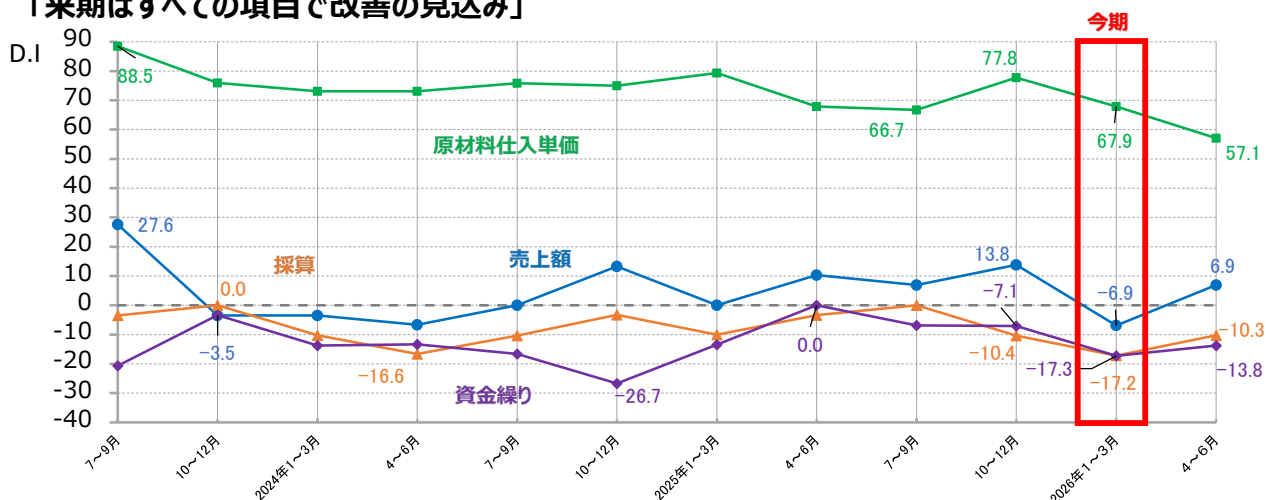


業種別業況の推移



製造業

「来期はすべての項目で改善の見込み」



「売上額」は20.7ポイント(13.8→-6.9)の大幅悪化となったが、来期は13.8ポイント(-6.9→6.9)の大幅改善の見込み。「原材料仕入単価」は9.9ポイント(77.8→67.9)の改善となり、来期もさらに10.8ポイント(67.9→57.1)の大幅改善が見込まれる。「資金繰り」は10.2ポイント(-7.1→-17.3)の大幅悪化が見られたが、来期は3.5ポイント(-17.3→-13.8)の改善の見込み。「採算」は6.8ポイント(-10.4→-17.2)の悪化となったが、来期は6.9ポイント(-17.2→-10.3)の改善が見込まれている。

【経営上の問題点】 第1位： 原材料価格の上昇 (21.5%)

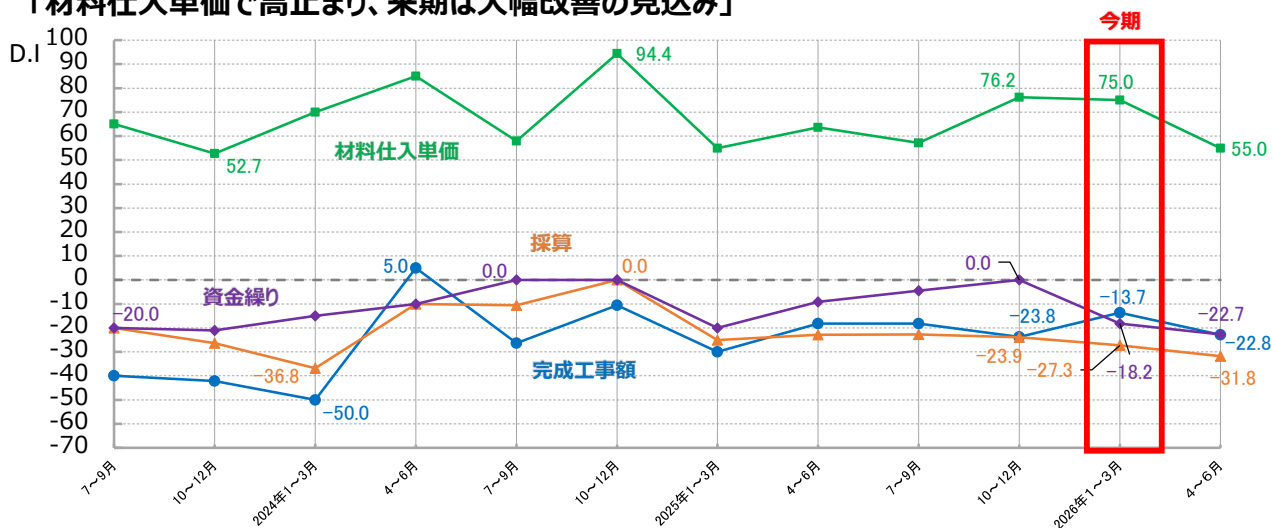
第2位： 需要の停滞 (18.5%)

第3位： 従業員の確保難 (15.4%)

第4位： 人件費の増加 (10.8%)

建設業

「材料仕入単価で高止まり、来期は大幅改善の見込み」



「資金繰り」は18.2ポイント(0.0→-18.2)の大幅悪化となり、来期もさらに4.5ポイント(-18.2→-22.7)悪化の見込み。「完成工事額」は10.1ポイント(-23.8→-13.7)の大幅改善となったが、来期は9.1ポイント(-13.7→-22.8)の悪化が見込まれる。「採算」は3.4ポイント(-23.9→-27.3)の悪化となり、来期はさらに4.5ポイント(-27.3→-31.8)悪化の見込み。「材料仕入単価」は1.2ポイント(76.2→75.0)の小幅改善となり、来期はさらに20.0ポイント(75.0→55.0)の大幅改善が見込まれている。

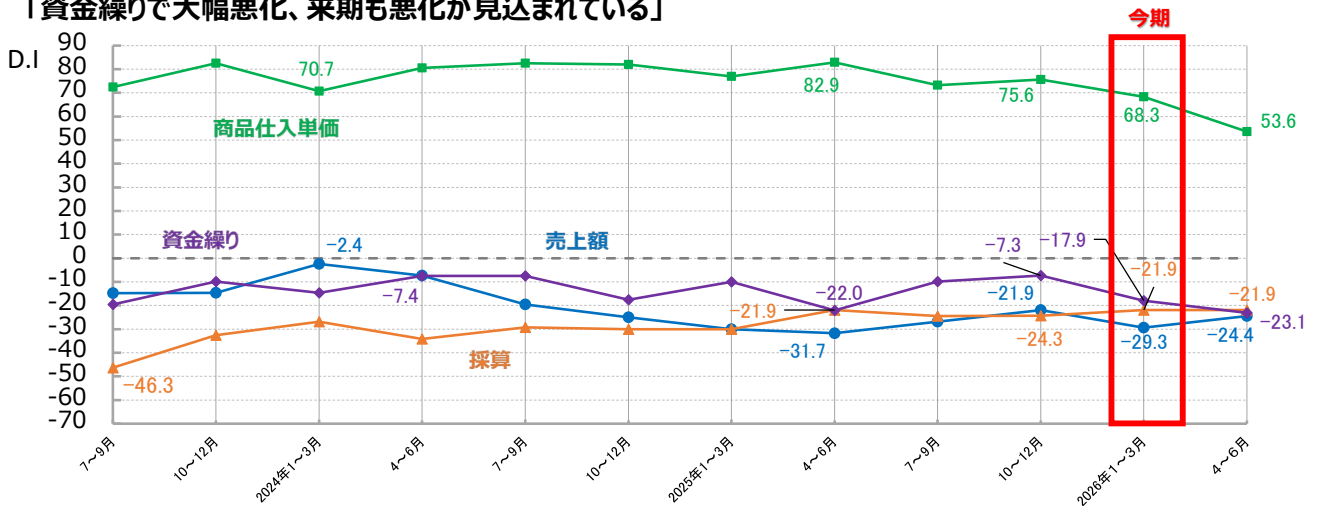
【経営上の問題点】 第1位： 材料価格の上昇 (27.2%)

第2位： 従業員の確保難 (19.2%)

第3位： 材料費・人件費以外の経費の増加 (11.5%) 第4位： 材料の入手難 (7.7%)

小売業

「資金繰りで大幅悪化、来期も悪化が見込まれている」



「資金繰り」は10.6ポイント(-7.3→-17.9)の大幅悪化となり、来期もさらに5.2ポイント(-17.9→-23.1)悪化の見込み。「商品仕入単価」は7.3ポイント(75.6→68.3)の改善となり、来期もさらに14.7ポイント(68.3→53.6)の大幅改善が見込まれている。「売上額」は7.4ポイント(-21.9→-29.3)の悪化となったが、来期は4.9ポイント(-29.3→-24.4)の改善が見込まれる。「採算」は2.4ポイント(-24.3→-21.9)の改善となり、来期は横ばい(-21.9→-21.9)の見込み。

【経営上の問題点】

第1位：仕入単価の上昇（23.2%）

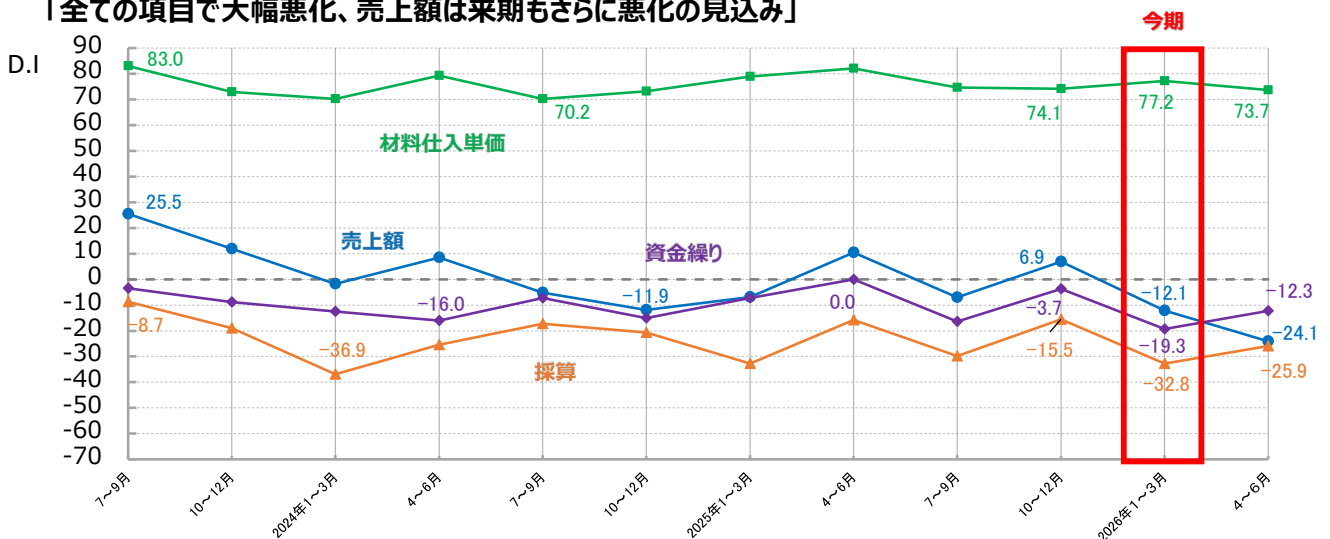
第2位：消費者ニーズの変化への対応（17.9%）

第3位：購買力の他地域への流出（12.8%）

第4位：需要の停滞（12.8%）

サービス業

「全ての項目で大幅悪化、売上額は来期もさらに悪化の見込み」



「売上額」は19.0ポイント(6.9→-12.1)の大幅悪化となり、来期もさらに12.0ポイント(-12.1→-24.1)の大幅悪化の見込み。「採算」も17.3ポイント(-15.5→-32.8)の大幅悪化が見られたが、来期は6.9ポイント(-32.8→-25.9)改善が見込まれている。「資金繰り」は15.6ポイント(-3.7→-19.3)の大幅悪化となったが、来期は7.0ポイント(-19.3→-12.3)改善の見込み。「材料仕入単価」は3.1ポイント(74.1→77.2)の悪化となったが、来期は3.5ポイント(77.2→73.7)の改善が見込まれる。

【経営上の問題点】

第1位：利用者ニーズの変化への対応（20.5%）

第2位：材料等仕入単価の上昇（20.3%）

第3位：人件費の増加（10.1%）

第4位：人件費以外の経費の増加（8.7%）

調査要領

○調査の目的

中小企業景況調査は、全国の商工会地区に地域経済観測点を設置し、地域の産業の状況や経済動向等について、一定時期ごとに変化の実態諸情報を迅速かつ的確に収集・提供して、経営改善普及事業の効果的实施に資するものとする。本報告書は、栃木県内商工会地区における、「製造業」「建設業」「小売業」「サービス業」の4業種を、主要景況項目(売上額・原材料仕入単価・採算・資金繰り)から分析し、景況情報をまとめたものである。

○調査対象地区（栃木県商工会地区）

矢板市・上三川町・うつのみや市・西方・市貝町
壬生町・藤岡町・氏家・那珂川町・西那須野

○調査時点

2026年3月1日

○調査対象期間

2026年1月～3月期の実績及び、2026年4月～6月期の見通しについて調査

○調査方法

商工会の経営指導員による訪問調査

○回答企業数内訳

業種	回答企業数	構成比(%)
製造業	29	19.3%
建設業	22	14.7%
小売業	41	27.3%
サービス業	58	38.7%
合計	150	100.0%

※D I 指数とは

報告書に登場するD I 値とは、デフュージョン・インデックス(Diffusion Index = 景気動向指数)の略であり、各調査項目についての増加(上昇・好転)企業割合から減少(低下・悪化)企業割合を差し引いた値を示すものである。

D I 値がプラスのときは業況の好転、マイナスのときは業況の悪化を示すことから、景気の動向を判断する指数として利用される。また、D I 値は強気・弱気など、景況感の相対的な広がりを示すものであり、売上額などの実数値の上昇率とは異なる。

たとえば、今期の売上額を前年同期と比較した結果、増加企業が50%、不変企業が30%、減少企業が20%となったとすると、D I 値は $50 - 20 = 30$ となり、売上額に対して強気の度合いを示している。



編集：栃木県商工会連合会 事業推進課

発行所：栃木県商工会連合会 栃木県宇都宮市中央3丁目1番4号

TEL 028-637-3731・FAX 028-637-2875